

特集Ⅲ

YCD-R体αリポ酸+YCD-COO10

安定性と吸収性を向上させて差別化を強化

シクロケム

シクロケム(東京都中央区、〒103-5614・7147)は、血流改善素材として「R体αリポ酸YCD(シクロデキストリン)包接体」と、C

OO10YCD包接体」を提案している。

生体内で合成されるαリポ酸、COO10ともに糖を代謝することで、生体内で、ATPの産生を促進し、また血流を改善することで知られている素材だ。

しかしながらどちらも

加齢に伴い、その合成量は減少するため、サプリメントで補う必要があるとされる。

同社では、環状オリゴ糖「γ-シクロデキストリン(YCD)」によって両素材を包接することで、安定性や吸収性を高めることに成功しており、差別化素材として提案を強化している。

これまで市場に流通していたαリポ酸製品は、体内に存在するR体α

リポ酸と、本来体内には存在しない非天然型であるS体を組み合わせて安定性を高めたラセミ体と呼ばれる状態のαリポ酸だった。

R体とS体を比較した動物試験では、R体の方が有意に大動脈流を増強することが明らかになっていることから、本来はR体のみが摂取が望ましいことが確認されている。

同社では、単一では不

安定なR体αリポ酸をYCDで包接することで、安定性を向上させ、効率的にR体のみを摂取することを可能にした。

COO10も、脂溶性のため凝集しやすく、吸収性が悪いほかに、光や熱に弱いといった安定性に関する弱点も有している。

これらもYCDで包接することで、安定性を向上させ、吸収性も高めることに成功している。